

2011年10月31日

報道関係者 各位

日本品質保証機構(JQA)、機能安全の解説セミナー開催  
～IEC 62061/ISO 13849-1(機械類機能安全規格)の規格解釈・対応～

一般財団法人日本品質保証機構(以下 JQA、本部:東京都千代田区、理事長:森本修)は、11月18日、機能安全<sup>\*</sup>に関する解説セミナーを行います。セミナーでは、IEC 62061/ISO 13849-1(機械類機能安全規格)の規格解釈や対応に関する講義の後、ワークショップを行うことで、実践的に理解を深めていただける内容をご用意しております。

JQA では、機能安全が導入されている製品やシステムについて、各種の機能安全規格に基づく評価・認証を行うサービスを提供しています。また、本年5月より「機能安全シリーズ」と題したセミナーを、機能安全規格への対応を考える設計・開発・品質管理等の担当者の方に向けて実施しており、4回目となる今回は IEC 62061/ISO 13849-1 について取り上げます。皆様のご参加をお待ちしています。

■セミナー概要■

「機能安全:IEC 62061/ISO 13849-1(機械類編)

～機能安全シリーズ 第4回～」

日時:2011年11月18日(金) 13時30分～17時

会場:JQA 本部 セミナールーム

(東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル14階)

対象:機械類の安全制御の設計や評価に係るハードやソフトのエンジニアおよびセーフティエンジニア

主な内容:(1)IEC 62061 および ISO 13849-1 の要求事項解説

- ①ハードウェアに対する要求事項
- ②ソフトウェアに対する要求事項
- (2)規格で認められた信頼性の計算方法
- (3)ワークショップ
  - ①プログラムの問題
  - ②要求 SIL の推定
  - ③SIL の計算(故障確率計算)
  - ④PL の計算

参加費:10,000円

申込方法:JQA Webサイト(<http://www.jqa.jp/>)内、「セミナーのご案内」より

お申し込みください([http://www.jqa.jp/topics/all/topics\\_all\\_10.html](http://www.jqa.jp/topics/all/topics_all_10.html))



IEC 61508 とその派生規格  
(ドラフト段階含む)



JQA の機能安全規格  
認証マーク例

※機能安全：

「機能安全」とは、安全機能が故障しても、その被害を最小限にとどめるように機能を設計し、安全を担保するという考え方です。近年では、製品やシステムに電気・電子・プログラマブル電子制御による安全機能を実装し、危害や危険の発生を低減させることで安全性を確保する方法が主流となっています。もともとはプラント制御分野で生まれた考え方ですが他の産業分野にも対象が広がっており、機能安全の確保に必要な要求事項を定めた国際規格としては、産業分野を特定しない IEC 61508 をベースにさまざまな製品やシステム向けの規格が派生しています。

【一般財団法人日本品質保証機構(JQA)】

1957 年の設立から、一貫して日本のものづくりとサービス産業の発展を、検査や試験、検定や認証サービスで支えてきた日本の代表的な認証機関。1990 年代から ISO 認証の普及啓発に励み、ISO 9001、ISO 14001、ISO 27001 をはじめとする各種マネジメントシステム規格の認証件数は国内最多(およそ 15,000 件)の実績。製品試験についても、電気製品や医療機器について長年にわたる経験がある。

＜本件に関するお問合せ＞

一般財団法人日本品質保証機構

認証制度開発普及室 担当：田知本

TEL：03-6212-9225／E-mail：[cert-scheme-dp@jqa.jp](mailto:cert-scheme-dp@jqa.jp)